

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市広芝町Ⅱマンション	階数	地上14F
建設地	吹田市広芝町11番6、24、26	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	78人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年8月27日
敷地面積	428㎡	作成者	(株)IAO竹田設計 酒井
建築面積	314㎡	確認日	2015年9月1日
延床面積	3,271㎡	確認者	(株)IAO竹田設計 山口



ください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.9

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.3

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺への配慮として高層の建物をセットバックさせて、道路境界線より一定の距離をとり、緩衝帯となる緑地を設ける計画としている。	その他 0
Q1 室内環境	VOCの排除、ノンホルムアルデヒド(F4☆)の材料選定を行う。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に調和した植栽計画としている。歩車道分離により居住者の安全性を高めている。
LR1 エネルギー	省エネ等級3を満たす計画としている。	LR3 敷地外環境 可能な限り植栽を配置している。
Q2 サービス性能	劣化対策等級3相当の、耐久性に優れた建物としている。	
LR2 資源・マテリアル	有害物質を含まない建材を使用し、地球環境に配慮している。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0045

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)吹田市広芝町Ⅱマンション					
	建設地	吹田市広芝町11番6, 24, 26					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					<b>B+</b>	
	CO2削減					<b>3</b>	
	省エネ対策					<b>3</b>	
	みどり・ヒート アイランド対策					<b>2</b>	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外	

<b>【評価項目】</b>							
省エネルギー対策		① CO2削減					
		② 省エネ対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価			<b>3.4</b>	<b>3</b>	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体		<b>3.0</b>	<b>3</b>	
			住戸・宿泊				
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価			<b>3.0</b>		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価			<b>2.0</b>		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価			<b>2.5</b>		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価			<b>3.5</b>		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価			<b>3.4</b>		
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。			報告する 報告しない	-	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策					
項目		評価内容			スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価			<b>2.0</b>	<b>2</b>	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価			<b>2.0</b>		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価			<b>2.0</b>		
<b>その他</b>							
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項		
特に配慮した事項							